

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		支援計画に沿って療育の内容や役割分担を決めています。子どもの調子によっては支援内容を変更する場合もあります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		毎日、担当する子供の確認と支援内容は相談しながら決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		わからない 1 毎日の支援記録で、シフト外の職員にも伝えるようにし、補足部分は口頭でも伝えるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		個別支援記録を残し、次回の支援内容に繋げるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11		わからない 1	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		わからない 1 依頼のあった会議には当該児をよく知る職員が参加しています。	支援の時間と重なっている時や数が多くなった時の対応が課題。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		わからない 2 該当する児童がいた場合には、児発管を中心に連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		わからない 3名 相談支援員が事業所間で共有した情報を伝えていただいています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		わからない 2名	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10		わからない 2名 区民ホールでのコンサートなどのイベントへの参加はしています。	地域の子ども達との交流の機会を持つのが今後の課題です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		わからない 3名 法人の中から誰かが参加できるようにしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		連絡帳や申し送りで得た情報は職員間で共有し。課題については保護者の方と共通理解を持ち子供の成長につながるよう努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11		わからない 1名 希望される方に個別相談を行っています。今年度は講師を招いての相談会も行いました。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		わからない 1名 利用契約時に、説明をさせていただきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		わからない 3名 半年に一度以上の面談(電話を含む)を行い、内容の確認を行っている。	子どもの意見・思いをどうするか。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		わからない 1名	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		悩みや相談等にはお時間を取っていただき生活しやすい工夫やアイデアを実例を交えて提案させていただいています。	必要な助言を職員間で話し合う時間を多く取れるようにしていきます。